

平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 イマジニア株式会社
 コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO
 定時株主総会開催予定日 平成26年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 平成26年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 神藏 孝之
 (氏名) 中根 昌幸
 配当支払開始予定日

TEL 03-3343-8911
 平成26年6月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	3,693	0.1	676	△6.6	868	12.8	593	16.0
25年3月期	3,689	0.4	724	36.9	769	44.5	511	24.6

(注) 包括利益 26年3月期 599百万円 (5.1%) 25年3月期 570百万円 (45.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	61.87	—	7.2	9.7	18.3
25年3月期	53.31	—	6.5	8.9	19.6

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 △2百万円 25年3月期 △24百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	8,991	8,468	94.1	881.89
25年3月期	8,985	8,079	89.9	841.42

(参考) 自己資本 26年3月期 8,464百万円 25年3月期 8,075百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	△77	1,140	△200	7,170
25年3月期	857	△931	△214	6,313

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00	211	41.3	2.7
26年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00	211	35.6	2.6
27年3月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00		50.3	

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,830	19.1	342	57.2	342	50.0	202	30.8	21.12
通期	3,725	0.9	700	3.4	700	△19.4	420	△29.3	43.76

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期	10,649,000 株	25年3月期	10,649,000 株
--------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期	1,051,321 株	25年3月期	1,051,290 株
--------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数

26年3月期	9,597,681 株	25年3月期	9,597,742 株
--------	-------------	--------	-------------

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、デフレの払拭には至らないものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が強まり、個人消費及び生産は増加する動きが見られました。しかしながら今後につきまして、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による弱さが残ることや、海外経済の下振れによるリスクはあります。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、スマートフォンを中心とした携帯電話端末やタブレット端末などの普及により、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスが広がりを見せております。

このような環境下におきまして、主力であるモバイルコンテンツ事業の事業環境はフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が急速に進んでおります。当社グループもフィーチャーフォン向け有料サービスを中心としたビジネスから新たなビジネス構築が急務となっており、中期的な経営の方向性でもある「新たな成長へのチャレンジ」の実現に向けて取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,693,363千円（前年同期比0.1%増）、営業利益676,860千円（前年同期比6.6%減）、経常利益868,257千円（前年同期比12.8%増）、当期純利益593,817千円（前年同期比16.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業におきましては、ビジネス環境が大きく変化する状況において、「a uスマートパス」「NTTドコモ スゴ得コンテンツ」等のキャリア主導サービスの提供の拡大、「LINE」等のメッセージサービスへの提供拡大、ユーザー満足度の高いスマートフォン向けコンテンツの提供によるスマートフォン月額課金サービスの会員数増加などの取り組みによって、当該事業のビジネス範囲の拡大を図りました。

上記の結果、売上高2,436,316千円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益906,028千円（前年同期比4.6%減）となりました。

(モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業におきましては、デジタルコンテンツとの連携を図り集客を強化することによって、スマートフォン向けのコマースビジネスの拡大に取り組みました。

また、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に、継続して取り組みました。

上記の結果、売上高554,306千円（前年同期比32.8%増）、セグメント利益18,550千円（前年同期は28,429千円のセグメント損失）となりました。

(パッケージソフトウェア事業)

パッケージソフトウェア事業におきましては、「メダロット」関連タイトルである「メダロットDUAL」をニンテンドー3DS向けに発売いたしました。

上記の結果、売上高431,071千円（前年同期比32.0%減）、セグメント利益2,867千円（前年同期比95.1%減）となりました。

(投資教育事業)

投資教育事業におきましては、銀行及び証券会社が投資信託を販売するための支援ツールである投資信託提案支援システムの銀行及び証券会社の導入先の拡大に取り組みました。

なお、当該事業は、営業を子会社であるイマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社が担当し、システム開発・運用・保守を関連会社であるストックウェザー株式会社が担当する当社グループの二社が分業する体制で行ってまいりましたが、技術の進化や市場の競争に対応するために、システム開発を担当するストックウェザー株式会社に経営の意思決定及び経営資源を集中するために当該子会社株式を譲渡することを決定いたしました。

上記の結果、売上高271,884千円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益13,486千円（前年同期比53.6%増）となりました。

② 今後の見通し

次期の見通しにつきまして、当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、世界的にスマートフォンの普及が進んでおります。

このような事業環境において、フィーチャーフォン向け有料サービスを中心としたビジネスからの脱却を目指して、中長期的な経営の方向性を「新たな成長へのチャレンジ」と定め、新たなビジネスの構築に取り組んでまいります。

モバイルコンテンツ事業では、引き続き、「a uスマートパス」「NTTドコモ スゴ得コンテンツ」等のキャリア主導サービス、スマートフォン月額課金サービス、「LINE」等のメッセージサービス等の拡大を図ってまいります。また、海外でのコンテンツ提供も模索いたします。

モバイルコマース事業は、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に取り組み、パッケージソフトウェア事業は、新作タイトルの提供に取り組んでまいります。

上記の取り組みにより、平成27年3月期の連結業績見通しは、売上高3,725,408千円（前年同期比0.9%増）、営業利益700,000千円（前年同期比3.4%増）、経常利益700,000千円（前年同期比19.4%減）、当期純利益420,000千円（前年同期比29.3%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して5,899千円増加した8,991,743千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が606,733千円の増加及びその他流動資産が247,398千円の増加となったものの、投資有価証券が819,032千円の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して382,559千円減少した523,306千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が180,009千円の減少及び営業未払金が112,699千円の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して388,458千円増加した8,468,436千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が382,667千円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、7,170,227千円と前連結会計年度末より856,733千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は77,259千円（前年同期は857,145千円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益970,756千円の増加要因があったものの、投資有価証券売却益78,994千円、投資事業組合運用益174,434千円、売上債権の増加93,830千円、仕入債務の減少53,389千円、営業未払金の減少102,062千円、法人税等の支払額499,169千円の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,140,310千円（前年同期は931,701千円の資金減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入6,938,387千円の増加要因があったものの、投資有価証券の取得による支出5,889,632千円の減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は200,046千円（前年同期は214,889千円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額209,675千円によるものであります。

なお、当社のキャッシュ・フロー等指標のトレンドは下記のとおりであります。

	第36期 平成25年3月期	第37期 平成26年3月期
自己資本比率 (%)	89.9	94.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	82.2	90.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

(注) 1. 各指標の内容

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

4. 有利子負債（リース債務を除く）がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオについては記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策の一つとして認識しており、配当と企業価値の向上による株主の皆様への利益還元を基本方針としております。

配当につきましては、安定配当と配当性向の両面を考慮しながら経営環境等を総合的に勘案して配当金額を決定してまいります。

内部留保金につきましては、企業価値の向上を図るための投資に活用してまいります。

上記の方針の下、当期の配当につきましては、1株当たり年間配当22円（1株当たり中間配当10円、1株当たり期末配当12円）とさせていただきます。次期の配当につきましては、当期と同じ1株当たり年間配当22円（1株当たり中間配当10円、1株当たり期末配当12円）とさせていただきます予定であります。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略、(4) 会社の対処すべき課題

平成25年3月期決算短信（平成25年5月10日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため、開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.imagineer.co.jp/>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293,493	6,900,227
売掛金	654,518	788,891
有価証券	74,261	—
商品及び製品	17,891	16,429
仕掛品	1,244	2,614
原材料及び貯蔵品	12	12
繰延税金資産	94,240	43,018
その他	64,804	312,203
貸倒引当金	△15,155	△7,415
流動資産合計	7,185,310	8,055,982
固定資産		
有形固定資産		
建物	100,739	100,739
減価償却累計額	△44,058	△50,213
建物(純額)	56,681	50,526
工具、器具及び備品	124,590	116,574
減価償却累計額	△105,548	△104,128
工具、器具及び備品(純額)	19,041	12,446
その他	12,863	13,822
減価償却累計額	△9,290	△1,151
その他(純額)	3,573	12,671
有形固定資産合計	79,295	75,643
無形固定資産	50,965	39,173
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350,470	531,438
繰延税金資産	210,167	185,384
その他	133,393	120,680
貸倒引当金	△23,759	△16,559
投資その他の資産合計	1,670,272	820,943
固定資産合計	1,800,532	935,760
資産合計	8,985,843	8,991,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,882	11,413
営業未払金	313,601	200,901
未払法人税等	293,987	113,978
繰延税金負債	—	153
返品調整引当金	—	13,973
その他	237,395	173,930
流動負債合計	905,865	514,350
固定負債	—	8,955
負債合計	905,865	523,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,549,527	3,932,195
自己株式	△622,299	△622,323
株主資本合計	8,062,250	8,444,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,500	19,255
その他の包括利益累計額合計	13,500	19,255
新株予約権	4,226	4,286
純資産合計	8,079,977	8,468,436
負債純資産合計	8,985,843	8,991,743

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	3,689,179	3,693,363
売上原価	1,535,634	1,638,126
売上総利益	2,153,545	2,055,236
返品調整引当金繰入額	—	13,973
差引売上総利益	2,153,545	2,041,262
販売費及び一般管理費	1,428,864	1,364,402
営業利益	724,681	676,860
営業外収益		
為替差益	40,703	—
投資事業組合運用益	1,280	174,434
貸倒引当金戻入額	7,200	7,200
その他	20,745	18,708
営業外収益合計	69,929	200,343
営業外費用		
為替差損	—	6,517
持分法による投資損失	24,844	2,282
その他	1	146
営業外費用合計	24,845	8,946
経常利益	769,765	868,257
特別利益		
投資有価証券売却益	65,837	298,928
固定資産売却益	20,000	—
受取和解金	62,535	—
子会社株式売却益	—	18,503
負ののれん発生益	—	5,002
特別利益合計	148,373	322,433
特別損失		
投資有価証券評価損	9,998	—
投資有価証券売却損	330	219,934
その他	577	—
特別損失合計	10,906	219,934
税金等調整前当期純利益	907,231	970,756
法人税、住民税及び事業税	392,476	301,252
法人税等調整額	3,048	75,687
法人税等合計	395,525	376,939
少数株主損益調整前当期純利益	511,706	593,817
当期純利益	511,706	593,817

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	511,706	593,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,875	5,755
その他の包括利益合計	58,875	5,755
包括利益	570,581	599,572
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	570,581	599,572
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,669,000	2,466,023	3,248,972	△622,269	7,761,726
当期変動額					
剰余金の配当			△211,150		△211,150
当期純利益			511,706		511,706
自己株式の取得				△30	△30
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	300,555	△30	300,524
当期末残高	2,669,000	2,466,023	3,549,527	△622,299	8,062,250

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△45,374	△45,374	3,742	7,720,094
当期変動額				
剰余金の配当				△211,150
当期純利益				511,706
自己株式の取得				△30
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	58,875	58,875	484	59,359
当期変動額合計	58,875	58,875	484	359,883
当期末残高	13,500	13,500	4,226	8,079,977

当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,669,000	2,466,023	3,549,527	△622,299	8,062,250
当期変動額					
剰余金の配当			△211,149		△211,149
当期純利益			593,817		593,817
自己株式の取得				△23	△23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	382,667	△23	382,643
当期末残高	2,669,000	2,466,023	3,932,195	△622,323	8,444,894

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,500	13,500	4,226	8,079,977
当期変動額				
剰余金の配当				△211,149
当期純利益				593,817
自己株式の取得				△23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,755	5,755	59	5,814
当期変動額合計	5,755	5,755	59	388,458
当期末残高	19,255	19,255	4,286	8,468,436

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	907,231	970,756
減価償却費	36,562	32,443
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27,909	△14,590
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	-	13,973
受取利息及び受取配当金	△13,035	△14,421
為替差損益 (△は益)	△40,085	6,270
投資有価証券売却損益 (△は益)	△65,506	△78,994
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,998	-
投資事業組合運用損益 (△は益)	-	△174,434
持分法による投資損益 (△は益)	24,844	2,282
負ののれん発生益	-	△5,002
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△18,503
売上債権の増減額 (△は増加)	123,384	△93,830
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,544	1,036
仕入債務の増減額 (△は減少)	40,126	△53,389
営業未払金の増減額 (△は減少)	△111,388	△102,062
未払金の増減額 (△は減少)	56,374	△28,926
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,137	△11,152
その他	△3,866	△24,093
小計	955,411	407,362
利息及び配当金の受取額	13,013	14,410
利息の支払額	-	△26
法人税等の還付額	54,094	163
法人税等の支払額	△165,373	△499,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	857,145	△77,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,338,226	△5,889,632
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,418,073	6,938,387
有価証券の取得による支出	△96,569	-
有価証券の売却及び償還による収入	100,321	104,569
無形固定資産の売却による収入	20,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	63,870
その他	△35,301	△76,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931,701	1,140,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△210,355	△209,675
その他	△4,533	9,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,889	△200,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,840	△6,270
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△252,605	856,733
現金及び現金同等物の期首残高	6,566,098	6,313,493
現金及び現金同等物の期末残高	6,313,493	7,170,227

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループを基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」、「パッケージソフトウェア事業」及び「投資教育事業」の4つを報告セグメントとしております。

「モバイルコンテンツ事業」は、モバイルコンテンツの提供を主なサービスとしております。「モバイルコマース事業」は、モバイルコマース、キャラクターグッズ製造及びライセンス等を主なサービスとしております。

「パッケージソフトウェア事業」は、家庭用ビデオゲーム機向けソフトウェアの提供を行っております。「投資教育事業」は、投資信託提案支援システムの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

	モバイル コンテン ツ事業	モバイル コマース 事業	パッケー ジソフト ウェア 事業	投資教育 事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	2,410,225	413,324	633,218	232,410	3,689,179	—	3,689,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,039	451	—	4,491	(4,491)	—
計	2,410,225	417,364	633,670	232,410	3,693,670	(4,491)	3,689,179
セグメント利益 (又は損失)	949,864	(28,429)	58,999	8,780	989,215	(264,534)	724,681
セグメント資産	838,075	151,934	577,639	109,757	1,677,406	7,308,437	8,985,843
その他の項目							
減価償却費	21,497	2,318	2,194	4,277	30,288	6,274	36,562
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	32,205	32,205	(19,738)	12,466
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,479	62	—	4,899	6,441	20,071	26,512

当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 千円)

	モバイル コンテン ツ事業	モバイル コマー ス事業	パッケー ジソフト ウェア 事業	投資教育 事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	2,436,316	554,306	430,855	271,884	3,693,363	—	3,693,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	215	—	215	(215)	—
計	2,436,316	554,306	431,071	271,884	3,693,578	(215)	3,693,363
セグメント利益 (又は損失)	906,028	18,550	2,867	13,486	940,933	(264,073)	676,860
セグメント資産	908,390	81,494	461,570	68,285	1,519,740	7,472,003	8,991,743
その他の項目							
減価償却費	19,201	1,339	1,185	3,576	25,302	7,140	32,443
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	32,205	32,205	(22,021)	10,183
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	10,859	1,128	—	2,465	14,453	3,630	18,083

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (又は損失)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去 (千円)	1,523	1,938
全社費用 (千円) ※	△266,057	△266,012
合計 (千円)	△264,534	△264,073

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

セグメント資産

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間債権消去 (千円)	△648	306
全社資産 (千円) ※	7,309,086	7,471,696
合計 (千円)	7,308,437	7,472,003

※ 全社資産は、主に余資運用資金 (現金及び預金) であります。

減価償却費、持分法適用会社への投資額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額に重要なものはありません。

2. セグメント利益 (又は損失) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	モバイル コンテン ツ事業	モバイル コマー ス事業	パッケー ジソフト ウェア 事業	投資教育 事業	合計
外部顧客への売上高	2,410,225	413,324	633,218	232,410	3,689,179

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)NTTドコモ	1,395,900	モバイルコンテンツ事業
KDDI(株)	570,788	モバイルコンテンツ事業
京セラコミュニケーションシステム(株)	71,765	モバイルコンテンツ事業

なお、(株)NTTドコモ、KDDI(株)及び京セラコミュニケーションシステム(株)に対する売上高は主に当社グループが(株)NTTドコモのiモードサービス及びKDDI(株)のE Z w e bを介して行う有料情報サービスの利用者(一般ユーザー)に対する情報料の総額であり、(株)NTTドコモ、KDDI(株)及び京セラコミュニケーションシステム(株)が、当該情報料の回収代行を行うものであります。

また、当連結会計年度において京セラコミュニケーションシステム(株)により行われていた当該情報料の回収代行は、KDDI(株)が引継いでおります。

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	モバイル コンテンツ事業	モバイル コマース事業	パッケージ ソフトウェア 事業	投資教育 事業	合計
外部顧客への売上高	2,436,316	554,306	430,855	271,884	3,693,363

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)NTTドコモ	1,228,060	モバイルコンテンツ事業
KDDI(株)	546,021	モバイルコンテンツ事業

なお、(株)NTTドコモ及びKDDI(株)に対する売上高は主に当社グループが(株)NTTドコモのiモードサービス及びKDDI(株)のE Z w e bを介して行う有料情報サービスの利用者(一般ユーザー)に対する情報料の総額であり、(株)NTTドコモ及びKDDI(株)が、当該情報料の回収代行を行うものであります。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
該当事項はありません。

- d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報
前連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
該当事項はありません。

- e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報
前連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
記載すべき重要な事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
1株当たり純資産額	841円42銭	1株当たり純資産額	881円89銭
1株当たり当期純利益金額	53円31銭	1株当たり当期純利益金額	61円87銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	511,706	593,817
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	511,706	593,817
期中平均株式数(株)	9,597,742	9,597,681
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	平成20年6月27日定時株主総会決議による新株予約権(新株予約権の数1,000個)。 平成21年6月26日定時株主総会決議による新株予約権(新株予約権の数2,000個)。 平成22年6月29日定時株主総会決議による新株予約権(新株予約権の数2,000個)。	平成20年6月27日定時株主総会決議による新株予約権(新株予約権の数1,000個)。 平成21年6月26日定時株主総会決議による新株予約権(新株予約権の数2,000個)。 平成22年6月29日定時株主総会決議による新株予約権(新株予約権の数2,000個)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。